

田んぼの学校は、心のふる里

『田んぼの学校』は、未来を創造する当麻の子どもたちが、良農教育の体験と地域農業の歴史学習などを通じて、ふる里の農業に対する理解を深め、命を尊び、郷土を愛する、その健全な「心の教育」のための施設です。

そこで、子ども自らが手をつけ育てた水稲が、日々いただく学校給食のお米にあえられることに大切な意味があります。

生産者の苗床が、精魂込め育てた農産品を我が子と別えまいように、新米となくそのお米は、子どもたちにとって臨場感溢れる、心から愛おしいものとなることでしょう。

また、昔の農具、当麻農業の歴史年譜が展示された農舎は、子どもたちが自分の心と体、すなわち「命」を育てきた、ふる里の生業に思いを馳せる学舎となります。

さらに、緑の畦道に沿って今年の新米に植樹される「キアコブシ」の花木は、四月に無垢で清らかな白い花を咲かせます。

古来よりその咲き方は、その年の五穀豊穡を占うものとされ、また、その花言葉は「反情」と言われます。

農業体験の指導者から語られる、それらの話は、当麻で生まれた子どもであるなら、誰一人知らぬ荷はいない逸話となり、この町で育った子どもたちをつなぐ、固い絆の役割を果たし、それぞれの物語を彩っていくことでしょう。

『田んぼの学校』は、子どもたちの「心のふる里」であってほしい。そして、自ら紡ぐ物語の途上、子どもたちがこのふる里に帰ってきたなら、いつでも「おかえり」と優しく迎えることのできる、温かな当麻であってほしい。

私は、心から、そう願っています。

平成二十七年五月二十二日

当麻町長 菊川 健一

当麻町田んぼの学校

The Academy of Rice Paddy in Tohma



田んぼの学校 工事概要

名称	当麻町田んぼの学校	所在地	上川郡当麻町3条東2丁目
利用開始	開校式:平成27年6月2日		
設計業務	株式会社アサヒ建設コンサルタント		
施工業者	西森建設株式会社		
総工事費	64,042,000円		
測量設計費	9,979,000円	(基盤整備分7,086,000円+農舎分2,893,000円)	
用地取得費	9,689,000円	基盤整備工事費	14,212,000円
農舎工事費	28,890,000円	野菜ガーデン暗渠工事費	1,272,000円

田んぼの学校 平面図



田んぼの学校基盤整備工事 概要

工事概要
 基盤整備工(田):10圃場 → 3圃場
 総面積 18,859 m² ①圃場:4,039 m² ②圃場:6,109 m² ③圃場:7,961 m²
 ④野菜ガーデン:750 m²
 水張面積 12,646 m² ①圃場:3,150 m² ②圃場:4,363 m² ③圃場:5,133 m²
 暗渠排水工:1式 用水路工:1式 排水路工:1式 管理道 L=667.56m
 農舎外構:1式

農舎 平面図



田んぼの学校農舎工事 概要

工事概要
 構造 木造平屋建 延床面積:139.12 m²
 設備機器 瞬間湯沸器, 業務用有圧換気扇(第3種換気方式), レンジフード
 造り付け手洗い流し台, バイオトイレ(正和電工株式会社)
 空調設備 換気:第3種換気方式 排気:自然排煙
 給排水衛生 給水:水道直結方式 給湯:個別給湯方式 排水:新浄化装置



田んぼの学校では、田植え一観察一稲刈りを通して、子どもたちが自ら土に触れ、手をかけて育てたお米100俵が学校給食で活用されます。



全長140mにわたるキタコブシの並木道。コブシの花が農作業の幕開けを告げます。



農舎は、多目的に使用できる学習スペースとなっており、当麻農業の歴史年譜と農具が展示されています。また、簡易的な調理場も備えています。









